

## 景況実感調査(10月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 前月と同様に、荷動きは活発ではないが、市中価格の大きな変動はない様子。単圧メーカーの値上げ発表があったが、現状市中価格に影響なし。
- ② 自動車メーカーの支給材価格の引き下げ後、店売り材にも影響大。様子見状態となっている。
- ③ 建築関係の客先は価格が上がらない。店売り価格は停滞しており、動きがない。先々で物件が動くという話も、もう信用がない。
- ④ 急な円安基調となり、輸入品には逆風となりそうだ。ただし、原油や鉄鉱石、石炭ニッケルなどの国際価格の下げ幅も大きく、その多くは円安との相殺でバランスしている。そんな中で、メーカーも価格対応に苦慮しているのではないかと。スクラップも下落している中で、エネルギーコスト(電力料金)や輸送費、人件費の上昇はインパクトが不足しているようで、なかなか理解されにくい面もある。やはり、需要が出て来ないとムードが醸成されず、値上げのメカニズムが働かない。10月中旬以降、引合いもボリューム感があるものが出てきており、11月に入っても注文が増えている。

### 中板

- ① 秋需の盛り上がりもなく、稼働日数分だけ販売が増えただけ。11月は稼働日も少ないが踏ん張りどころ。しっかりと商売をしていきたい。

### 厚板

- ① 10月はスクラップ価格が5円の下落。東鉄の値下げの影響で日々の引合いも減少して物件も様子見である。

### 一般形鋼

- ① 例年、売上等は10月と11月がピークとなる。今年も前年同月比はクリアしたが、予定数字には届かなかった。来月11月の荷動きで、来年1月～3月期の動きがつかめるのではないかと。
- ② 職人不足で、現場が有るのにもったいない。円安により海外で品物を作るより国内で作る方が良いため、国内の物流センターが多くなるのではないかと。

### HI形鋼

- ① 前半は台風の影響か、かなり出荷が少ない状況だったが、最後には良いと言えるレベルまで回復している。このまま回復していくように期待。
- ② 市況は弱含みで推移している。需要の盛り上がりには欠けることや、原材料の下落によることが大きい。メーカー対応も一貫性がなく、ここを是正しなければ何も始まらない。

## 異形棒鋼

- ① スクラップ価格の下落や東鉄販価の値下げの影響で、日々の荷動きや物件引合いが減少し、まったく秋需を感じない商売環境となった。

## 平鋼

- ① 10月は需要を期待していたが荷動きは横這い。建築需要もあり、加工業者も仕事が出てきており忙しくなりつつあるが、荷動きにはつながっていない。価格は、スクラップ価格が下がり、弱基調が続くも様子見。

## 車巻形鋼

- ① 来年1月中旬頃まで現状の稼働状況が続くが、以降は下降する予定。

## 鋼管

- ① 9月に比べ、荷動きは上向いており、今後も大きな変化は見込めないが、徐々に増加傾向での推移と思われる。

## 構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連はKD輸出が下支えしているが、国内生産がメーカーによって下方修正され、やや減速気味となっている。建設機械関連は、大型機種以外の需要は比較的堅調。また、工作機械、産業機械関連も底堅い状況が続いている。店売りの荷動きは変化なく、横這いとなっている。在庫状況は、適正水準で推移している。
- ② 荷動き自体は悪くはないが、けっして良くもない。まとまった引合いも出だしているが、建機関連が第4Qに若干の減少との話もあり、不安含みの先行き感がある。

## その他

### <鋼材全般>

- ① 為替、スクラップ等、市況の下げ要因があるも、流通は市況維持に努める努力が必要。噂に惑わされず、一つひとつ丁寧な対応をしていく。

### <曲げ加工>

- ① 今月は大型物件が通常より多少多かったため、売上げはやや増加した。それに対して細かい物件は減少した。鉄屋は重量が多いほど売上金額が上がるので、大型物件が多いにこしたことはない。だが、平均してみれば大した増加にはつながらなかった。今後は良い情報が入っているので、景況は良くなると思われる。

### <スクラップ>

- ① だんだん悪化している。
- ② 9月末から10月いっぱい、スクラップ単価が大暴落。苦しい一カ月だった。

### <金属表面処理加工>

- ① 10月は前月から繰り越した物件物が予定通り動き、計画通りとなる。紐付き材、スポットも高位安定しており、次月も引き続き安定操業にて推移できそうである。為替(円安)による石化製品各種の高騰により、第2段目の各種購入品の値羽下のアナウンスがあった。対応を検討中。